

<平成 26 年度>

土木部の取り組み実績

土木総務課	里山みどり課
道路管理課	公園課
道路補修課	交通対策課
道路整備課	用地課

■ 基本方針 ■

土木部では、だれもが安全で安心して暮らすことができるまちをめざし、道路や公園、河川などの都市基盤整備を行うとともに、自転車の安全利用をはじめとする交通安全の啓発や、快適な生活空間を創造するために緑の保全や緑化の推進に取り組みます。

また、事業の実施にあたっては、その効果や緊急性などの優先度に、中長期的な視点も加え選択と集中を行うとともに、国の社会資本整備総合交付金などを最大限に活用しながら進めていきます。

26 年度は、防災機能を兼ね添えた（仮称）東部スポーツ公園の一部開設と安全で快適な交通体系の軸となる枚方藤阪線の計画的な整備を進めます。



枚方藤阪線（天津橋工区）完成イメージ



（仮称）東部スポーツ公園完成イメージ

I 重点施策・事業

◆都市基盤として安全・快適で活力を生む道路交通網の整備

安全で円滑な交通体系を構築するため、交通結節点事業である津田駅東口駅前広場の整備を実施します。都市計画道路については、枚方藤阪線や御殿山小倉線、牧野長尾線の整備などを計画的に進めます。

また、東部地区については、国、府、警察と連携し交通環境改善に向け調査、計画を進めます。

広域交通ネットワークを構成する新名神高速道路や I.C.へのアクセス道路となる都市計画道路内里高野道線の整備促進にあたっては、市民の皆様にしっかりと情報発信を行うとともに引き続き、事業者に対し、周辺環境に十分配慮した道路として整備されるよう働きかけていきます。

また、淀川を渡河する新橋の整備については、対岸市と連携して認識を深めるとともに、早期整備に向けて国・府への働きかけを強めます。

実績

- ・都市計画道路については、枚方藤阪線の天津橋工区の道路改築を行った。また、御殿山小倉線及び牧野長尾線は事業認可を取得し、着実に取り組んでいる。
- ・東部地区の交通環境改善に向け新たな道路計画も含めた調査、検証を行った。
- ・津田駅東口駅前広場整備事業は、平成 27 年 3 月末をもって完成した。
- ・新名神高速道路については、地域へ設計説明会を実施し、道路構造のイメージや環境予測などの情報発信を行った。またアクセス道路となる内里高野道線も、ルート見直し等について地域へのお知らせを行った。
- ・淀川渡河橋については、必要性や整備効果を検証した根拠に基づき、事業者などに更なる働きかけを行った。



枚方藤阪線（天津橋工区）
の完成区間

◆道路・公園等の効果的・効率的な維持管理

道路や公園などの機能や安全性を確保するため、これらの施設の異常や支障箇所を早期に見出し、引き続き迅速な対応に努めます。

また、安全で快適な道路環境の保持並びに効果的・効率的な施設の維持管理を図るため、主要道路リフレッシュ事業を継続的に進めるとともに、橋梁やトンネルや道路照明灯などの点検を行います。計画策定を行った橋梁の長寿命化修繕工事や耐震化、公園施設長寿命化計画に基づく改築等工事に取り組みます。

一方、近年頻発する集中豪雨などに対応するため、緊急体制の充実を図るとともに、道路排水施設等の整備・修繕に引き続き取り組みます。

実績

- ・主要道路リフレッシュ事業では、楠葉中央線、牧野長尾線、山之上高田線の 3 路線延長 920m の整備を行った。
- ・道路照明灯については、145 灯の点検を実施した。
- ・橋梁長寿命化対策では、西河原橋ほか 6 橋の修繕工事を行った。また、越前林高架橋ほか 1 橋の修繕設計を行った。
- ・排水施設整備では、楠葉丘 1 丁目などで側溝補修等を行った。また、台風やゲリラ豪雨対策として、過去に被害があった地域などの重点的なパトロールや側溝の清掃などの事前対応を実施した。
- ・公園施設長寿命化計画に基づき王仁公園のトイレ、牧野、北山、阪今池公園の遊戯施設の更新工事を行った。

◆公園の整備と緑化の推進による緑豊かな都市環境の創造

（仮称）東部スポーツ公園については、平成 27 年度当初の野球場開設に向けた整備工事を行い市民のスポーツ活動の活性化を図ります。

また併せて、本市の東の玄関口として、国道 307 号とのエントランス部の改良工事に取り組みます。

星ヶ丘公園は計画的に用地取得を行い、自然林部分を含めた区域拡張を図り、憩いとやすらぎの場を創出します。岡東中央公園では公園利用者の利便性の向上を図るため屋外ステージに上屋を設置します。

また、環境や社会状況の変化に対応するため、「緑の基本計画」の改定に取り組むとともに、「花と緑のまちづくり基金」を活用し、市民等による民有地緑化の活動を支援し、新たに所管となった里山に係る業務を併せながら、市内の緑化を総合的に推進いたします。

実績

- (仮称) 東部スポーツ公園（東部公園）については、平成 26 年度に第 1 期整備区域の公園整備を行い、平成 27 年 4 月 1 日より部分供用するとともに、『ひらかた東部スタジアム』を 4 月 10 日に開設した。



ひらかた東部スタジアムの
全景（左は東部清掃工場）

- 星ヶ丘公園については、平成 31 年 4 月の追加供用をめざして、用地取得を行った。
- 岡東中央公園については、既設ステージの使用時に快適に利用が行えるよう上屋の設置を行った。
- 緑の基本計画の改定については、緑の現況把握や現計画の評価、市民・事業者アンケートを実施し、外部有識者等による審議会や市民ワークショップ「ひらかた Green ワークショップ」を開催しながら課題の抽出などを行った。
- 花と緑のまちづくり事業については、事業選定審査会を設置し、拠点づくり事業に申請のあった 4 団体に対し、プレゼンテーションによる審査が行われ、4 団体の事業が選定された。
- 里山保全については、基本的な知識などを得てもらうため、里山講座を開催し、里山保全活動団体のフィールドで実習を行い、受講者に里山保全の意識の向上を促すことができた。



市民ワークショップ
現地視察のようす



里山講座のようす

◆安全・安心な交通環境の創出

人にやさしく安心な交通環境の創出のため、新たに長尾駅にバスロケーションシステムによる路線バス発着情報パネルを整備するとともに、昨年度に引き続き村野駅バリアフリー化工事を進め、市内 12 駅全てのバリアフリー化が完成します。

通学路などにおける安全な歩行空間の確保を図るため、JR 学研都市線の交野踏切及び第一藤阪踏切の拡幅整備に取り組みとともに、車両の安全で円滑な通行のため、宮之阪 3 丁目東交差点の改良整備を進めます。

自転車の安全利用をはじめとする交通ルールやマナーについて、小中学校における交通安全教育など広く普及啓発を図るとともに、道路の整備に合わせ、安全な自転車通行空間の整備に向け取り組みます。

実績

- ・バスロケーションシステムについては、長尾駅に案内モニターの設置を行った。また、鉄道駅のバリアフリー化については、平成 25 年度から整備が進められていた村野駅の整備が終了し、市内全 12 駅のバリアフリー化が完了した。
- ・JR 学研都市線の交野踏切については、JR と工事協定を締結し、また、第一藤阪踏切についても、協議を進めている。
- ・宮之阪 3 丁目東交差点については、大阪府事業と連携し、交差点改良を完成した。
- ・自転車走行空間の整備については、都市計画道路御殿山小倉線及び牧野長尾線について、関係機関と協議し、設計を取りまとめた。
- ・自転車の安全利用に向けて、市内各幼稚園・保育園、保育所・小学校において、交通安全教室を 126 回開催し、交通ルールの遵守や交通マナーの向上に取り組んだ。
- ・府に要望していた府道杉田口禁野線（既存道路部）における自転車通行空間の整備が実現した。

Ⅱ 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
9. アダプトプログラム等の推進	公園・道路・河川の日常的な維持管理についてアダプトを推進する。

実績

- ・道路アダプトについては、2 団体が加入し、2 団体が脱退した（14 団体）。
- ・公園、緑地等のアダプトプログラム団体の拡大の取り組みを行い、新たに 11 団体が加入した（155 団体、215 公園）。

改革課題	取り組み内容・目標
27. 市内スポーツ施設の管理運営体制の一元化	スポーツ施設の管理運営の一元化に向け検討を進める。

実績

- ・都市公園内の新たなスポーツ施設として、教育委員会との間で東部公園の野球場と藤阪東町中央公園のテニスコートに係る管理運営協議を行った。指定管理も含め合理的な運営のあり方を今後も検討していく。

改革課題	取り組み内容・目標
33. 技能労務職員等の配置基準の見直し	市民からの通報や要望への迅速な対応並びに災害時におけるセーフティネットの確保などの観点も含め、技能労務職員の配置について検討を進める。

実績

- ・技能労務職員の将来的な配置のあり方について、業務内容の精査とともに、当面の対応や今後の方向性の検討を進めた。

改革課題	取り組み内容・目標
37. 指定管理者制度の導入拡大	公園等の管理方法として指定管理者制度の導入に向けて引き続き検討する。
実績	
・平成 26 年度の都市公園有料施設の指定管理者制度の導入に続き、「市民の森」についても制度導入の検討に着手した。	

改革課題	取り組み内容・目標
41. 特別会計・企業会計の経営健全化と一般会計繰出金の抑制 ②自動車駐車場特別会計	適切な施設保全に取り組むとともに、利用率向上策を検討し良好な施設運営に努める。
実績	
・「枚方市市有建築物保全計画」に基づき、岡東町自動車駐車場の高圧受変電設備改修工事・防災設備更新他改修工事のための設計委託を行い適切な施設保全に取り組んだ。	

<事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
道路施設維持管理事業	道路陥没等補修の迅速な対応に努めるとともに、橋梁等道路施設の長寿命化に取り組む、安全で快適な道路環境を提供する。
実績	
・市民要望等による道路補修依頼 3,975 件に対し、過年度分を含め、工事・修繕・委託及び直営作業等により順次対応した。また、橋梁等道路施設の長寿命化については、西河原橋ほか 6 橋の工事を完了した。	

事務事業	取り組み内容・目標
都市公園等維持管理事業	遊具等施設の損傷などの迅速な安全対応に努めるとともに、長寿命化に取り組み、良好な公園緑地等の景観を維持し、憩いと安らぎの空間を提供する。
実績	
・日常点検等を実施し遊具やフェンス等の直営作業や工事発注により安全対応を行った。また、長寿命化計画に基づき、3 公園の遊具の更新を行った。 ・良好な景観を確保するために除草、剪定を行った。	

<業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
安全作業の徹底	「安全十則」「安全作業の手引」などにより、常時の安全確認と意識啓発を行う。
実績	
・朝礼時において、KYK（危険予知活動）取組目標の唱和など、事故防止について安全意識の向上に取り組んだ。 ・「安全十則」「安全作業の手引」の認識はもとより、危険予知活動として、安全と衛生の標語を唱和し意識啓発を行った。 ・産業医のアドバイス等を受け、熱中症の予防に取り組んだ。	

テーマ	取り組み内容・目標
公用車の事故防止	運転中の安全確認はもとより、道路上での作業中の安全対策等も含めて、効果的な講習等について検討し、実施する。
実績	
・中部別館では道路補修課と公園課に副安全運転管理者を各 1 人配置し、日ごろから職員への安全運転意識の向上に努めた。	

Ⅲ 予算編成・執行

- ◆部の予算は、国の経済対策で追加された平成25年度補正予算も含め、前年度比131.9%となります。
- ◆維持管理に係る経費は、引き続き、道路照明灯のLED化を進め、経費の削減に取り組みます。

実績

- ・道路照明灯については、平成25年度・26年度で合計1,828灯のLED化に取り組んだ。

- ◆市域幹線ネットワークの強化を図るため都市計画道路の建設や、防災・安全対策として通学路の改良整備や主要道路リフレッシュ事業などに国の交付金等を最大限に活用し、効率的に取り組めます。

	維持管理	建設事業	計
H25	10億	23億	33億
当初	2300万円	3900万円	6200万円
H26	9億	34億	44億
当初	9500万円	4100万円	3600万円
対前年比	97.3%	147.1%	131.9%

※各年度の事業経費は前年度補正予算の繰越額を含む

実績

- ・主な事業として
枚方市鉄道駅バリアフリー化設備整備費補助事業（村野駅のバリアフリー化）（7,000万円）
主要道路リフレッシュ整備事業（楠葉中央線などの舗装整備）（1億3,000万円）
橋梁修繕・補強事業（8,300万円）
枚方藤阪線整備（9,000万円）
牧野長尾線整備（5億9,000万円）
津田駅東口駅前広場（7,300万円）
踏切道交通安全対策事業（JR学研都市線の2踏切の拡幅）（4,840万円）
星ヶ丘公園整備（2億円）
東部スポーツ公園整備（10億5,000万円）

Ⅳ 組織運営・人材育成

- ◆道路・公園等の整備から維持管理まで一貫して所管する部として、各課間の連携を密にし、効果的・効率的に事務事業の執行を図ります。

実績

- ・道路等に関する要望を部内で共有、確認、調整し、懸案事項についての関係課長会議を開催し、不法占用の除去や用地取得に伴う部内の課題解決に向け、連携を図った。
- ・直営作業の能力向上に向け、工作機器等の取扱いなど、道路補修課と公園課と合同で講習会を実施した。
- ・道路一斉パトロールを春季・秋季の2度実施した。

- ◆災害時等のセーフティネットとして万全の対応が取れるよう、災害対応訓練などによる検証を繰り返し、充実した態勢を整えます。

実績

- ・図上訓練を3月に実施した。
- ・MC A無線の通信訓練をグループと個別で月1回実施した。
- ・台風接近を想定した連絡体制の確認や災害予想状況に応じた臨時再編と資機材の再確認などの対策を講じた。
- ・災害時の初動対応作業の向上のため、作業資機材等の取扱い講習などを行った。
- ・危機管理室が進める災害情報システムの構築に向けて災害時受付から処理対応に至るまでの事務について、業務マニュアルの作成に参画した。

- ◆新名神高速道路やその関連事業など、広域的な事業調整の増大に対応するため、大阪府との人材交流を積極的に行います。

実績

- ・平成25・26年度の2年間、土木事業推進のため大阪府都市整備部職員1人の派遣を受け、府市連携事業の推進に取り組むとともに、本市も平成25・26年度の2年間、道路整備課職員1人を大阪府都市整備部交通道路室に派遣し、実務研修を行った。

- ◆部内報や部内研修の充実などを通じて、各課の事務事業の共有化を促進し、意識・知識・見識など職員力のさらなる向上に取り組み、自律型職員の育成を図ります。

実績

- ・土木部への異動者を対象とした部内研修を実施するとともに、部内報「DOBO KU TOPICS」を3回発行し、部内事務事業の共有化に努めた。

V 広報・情報発信

- ◆新名神高速道路をはじめ、都市計画道路・公園等の整備は、本市のまちづくりや市民生活に与える影響も大きいことから、広報ひらかたやホームページなど適時・適切に周知が図れるよう情報発信していきます。

実績

(主なもの)

- ・新名神高速道路については、設計説明会にて構造イメージや環境予測を示し、また、新名神高速道路事業の動画やパネルの展示を行った。
- ・都市計画道路御殿山小倉線及び牧野長尾線の事業認可取得については、広報ひらかた及びホームページ等により周知した上、住民説明会を開催した。また、説明会の結果をホームページに掲載した。

- ◆市民の皆様への周知や普及啓発などの情報を正確かつ効果的に発信するため、部内各課のホームページの充実など、情報発信の強化に努めます。特に工事に際しては、現場の仮囲いに完成予想図や計画平面図を掲示したり、一部をスケルトンにして工事の進捗が判るようになるなど市民の皆様への事業に対する理解を深めます。また、市域の里山保全に関する情報をイベントの開催や、保全活動のパネル展示等で発信していきます。

実績

(主なもの)

- ・津田駅東口駅前広場、津田駅前東公園、及び津田東自転車駐車場の完成記念式典を3月21日に行い、東部公園スタジアムについては、3月29日にオープニングゲームを行った。
- ・枚方の里山・収穫の秋穂谷、ふれあい土木展2014、エコフォーラム2015において、里山保全活動団体の活動写真等のパネル展示啓発
- ・エフエムひらかたへの出演
- ・エコフォーラム2015において、「ひらかたGreenワークショップ」の活動を紹介
- ・緑化フェスティバルでの緑化推進の啓発
- ・菊フェスティバルの一環として菊花展を開催。市民に市の花「菊」をアピール。



道路の穴ぼこを発見したら、連絡を！！